

障害児支援利用計画

利用者氏名(児童氏名)	K・Tくん			相談支援事業者名	ひかり相談支援事業所
保護者氏名	H・T様	本人との続柄	父親		
障害福祉サービス受給者証番号				計画作成担当者	遠山金ノ介
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			
計画作成日	平成29年 3月15日	モニタリング期間(開始/終期年月)	6月ごと	利用者同意署名欄	印

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>体を使ってもっと遊びたい。電車が大好きなので、電車のことをもっと知りたい。いろんなお友達とたくさん遊びたい。(本人)</p> <p>父母ともに就労しており、今後も働き続けていく上で、必要なサービスは受けていきたい。これまでの生活のリズム、福祉サービスの利用のペースについては満足しており、これからも維持していきたい。(家族)</p>
	<p>僕のお父さんと、お母さんは、毎日、頑張って働いています。休みの日や、仕事が早く終わった時などは、公園で遊んでくれたり、電車でお出かけしてくれる優しいお父さんとお母さんです。でも、まだまだ遊び足りません。学校が終わった後は、お友達と一緒に体を使っておもいっきり遊びたいです。特別支援級やれいんぼうのお友達とも、もっと遊びたいです。</p>
長期目標	自分の得意なことを活かして、お友達との遊びや関わり楽しめる時間を増やしていきたいです。
短期目標	新しい活動の場所、新しい友達に慣れ、自分にとって楽しい活動にしたいです。

優先順位	解決すべき課題(家族及び本人の発達のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための本人・家族の役割	評価時期	その他留意事項
1	リラックスして遊びたい(本人)	ご本人が楽しんで通ってこられるよう、活動内容の工夫やお友達との関係性に配慮します。	6か月後	れいんぼう (放課後等デイサービス) 週4日利用。(月・火・木・金曜日に利用) 時間帯は、主に16:00～18:00。	体調を整え、れいんぼうに通います	6ヶ月後	水曜日の利用を減らし、放課後子ども教室「ひまわり」の利用を開始します。
2	いろんな友達と遊びたい(本人) 交流時間が減ったので、地域の子もたちとも関わりたい(家族)	特別支援級やれいんぼうの以外のお友達との交流の機会を提供し、地域のお友達とのかわりが、より楽しめるよう支援します。	6か月後	〇〇市教育委員会主催(今年一年参加できません。) 放課後子ども教室「ひまわり」 水曜日 14:30～17:00	ひまわりの活動に慣れ、お友達とも積極的にかかわります	6ヶ月後	教室へは、担当と行きます。お迎えについては、お兄ちゃんの協力を得ます
3	体を使った遊びをたくさんしたい(本人)	本人の好きな身体を使ったダイナミックな遊びを提供します。	6か月後	① 〇〇小学校 特別支援教室 月曜～金曜 8:30～15:30 水曜日のみ14:00下校 お昼休みや体育の時間等を活用 ② れいんぼう(放課後等デイサービス) 月・火・木・金 週4日利用16:00～18:00 ③ ご自宅 休日 ④ 放課後子ども教室「ひまわり」 水曜日14:30～17:00 バランス感覚を必要とする遊びや、持続的に瞬発力を使う動きなどは、本人の体が欲求する部分を満たす活動になると思われます	自分がやりたい活動、遊びを支援員や両親に伝えます	6ヶ月後	遊び、活動の例として、自転車やトランポリン、キックボードなどがあげられます。それぞれの事業所、ご家庭の中であるものや、代用できるものでも大丈夫です。
4	家庭での過ごし方を広げたい 勉強する時間も増やしたい(家族)	本人の得意なパソコンを使い、ゲーム感覚で「算数」や「漢字」を学びます。	6か月後	ご自宅 夕食後から入浴の間の30分 まずは、週に2日から開始します。ご本人の興味、関心があることが確認できたら日数を増やしていきます	ソフトをダウンロードします。本人と一緒に楽しめそうなソフトを探すところから始めます。	6ヶ月後	本人の負担感がないよう、時間設定については、体調や状態を考慮します。見通しを持たせるために、タイマー等を活用し、実施します。